



長野県教育委員会教育長との懇談会

本年は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため懇談会は中止とさせていただきます。
なお、長野県教育委員会原山隆一教育長より、メッセージを頂きましたのでご紹介致します。

教育長 メッセージ

日頃より長野県の教育の発展にご尽力いただき、厚く感謝申し上げます。
1月27日に開催予定としておりました「(一社)長野県連合婦人会と長野県教育委員会教育長との懇談会」は、皆様と意見交換させていただく貴重な機会でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止及び出席者の健康・安全面を考慮し中止となりました。

ちょうど1年ほど前の1月下旬から新型コロナウイルス感染症への対応が始まり、本県においても学校の臨時休業を余儀なくされ、教育現場では様々な問題に直面しながらも「学びを止めない」ために対応してきたところです。

また、長野県教育委員会では、このような予測困難な未来社会を自立的に生きていくために必要な資質・能力を育成するため、「学びの改革」にも引き続き取り組んでいるところでございます。

貴会におかれましても、長年継続されてきた行事の中止など様々な影響をうけられていると拝察いたします。婦人会の皆様には、長年にわたり互いに支え合いながら地域の課題をとらえて活動することで、様々な社会的困難を乗り越える原動力となってきたにきていただけてきました。このような時代にあつてこそ、地域に根差した生活の知恵を学びの現場に生かしていただくよう改めてお力添えをお願い申し上げます。

懇談会は中止となりましたが、事前に皆様からいただきましたご質問について、別添のとおり回答をとりまとめましたので、ご覧いただけますとともに、今後とも本県の教育に対し、ご意見ご助言いただきますようお願い申し上げます。

時節柄、皆様におかれましてはくれぐれもご自愛のほど、お祈り申し上げます。

質問事項

- ①新型コロナウイルス感染症の影響について
- ②新しい高校入試制度について
- ③ICT教育について
- ④校舎の新改築計画について
- ⑤職業体験について

※回答書は、各都市会長にお配りしました。



長野県教育委員会
教育長 原山 隆一

新たな日常のすゝめ

新型コロナウイルスは、目、鼻、口から感染します。

飛沫感染

飛沫が目を、鼻や口の中に入ると感染します。

接触感染

ウイルスがついた手で目、鼻、口に触れることで感染します。

感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう！

3つの基本	3密の回避	3つの習慣
<ul style="list-style-type: none"> ● 身体的距離の確保 ● マスクの着用 (人込みの中、食卓の際) ● 手洗い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 3つの条件が揃った場所を避ける (狭い・換気が悪い・人が多く) ● 密集 密着 密閉 	<ul style="list-style-type: none"> ☑ 体温確認 ☑ 体調確認 ☑ 行動履歴確認

風邪症状が長引くとまやがた悪化しやすいため、咳や発熱などの強い症状がある時は、かかりつけ医や保健所・保健センターに相談しましょう。

くらしのフォーラム 2020 地域版

～地球温暖化防止について婦人会でできること～

くらしのフォーラム 2020 は地域版として、各地域で開催をお願いしました。感染防止策を整え講演会や学習会をして頂き、「地球温暖化防止について婦人会でできること」を考えました。

<婦人会でできることまとめ>

- ・ごみの分別・減量化、たい肥化
 - ・リサイクル
 - ・省エネ(電気・ガス・水道)
 - ・地産地消
 - ・マイバックの持参
 - ・みどりのカーテンづくり
 - ・健康のためにも近くは歩く
 - ・食べる分だけ作る、食品ロスを減らす
- など、沢山のご意見が集まりました。会員一人ひとりの取り組みが地球温暖化を防ぐために繋がっています。

いつ終わるとも知れないコロナ禍ですが、婦人会として、また婦人会員として出来ること、学んだことを今後の活動にも生かしていきましょう。



実践事業 活動発表

家庭から食品ロスを減らそう

栄養博士の井出留美さんの講演「食品ロス削減と持続可能な社会を考えよう」を聞き食品ロスの約半分は家庭からと知りました。

社会問題にもなっているこの現状をふまえ、ロス削減によって、家計の支出、ごみの減、環境保全と共に、ごみ処理経費削減となるとのこと、自分たちの毎日を調べてみることにしました。事業内容、毎月一日を食品ロス見直しデーとして「食品ロス削減家計簿」に7月～12月までを記入しました。

記載方法の検討会、食品庫で消費が進まないものの一つ、高野豆腐を使った料理講習、情報交換会を持ち、買い物に行く前の心構え、食品保存の基本学習会等行いました。

事業後、①食べ物の無駄遣いを減らす意識が強くなった。②自分にとって「ちょうどいい」を知る事が大切、適量の買い物、適量の調理をする。③買い物前に冷蔵庫の中をチェックし買い物をメモする。④冷蔵庫の基本ルールにより適切な収納場所に入れることで、在庫管理や出し入れも容易になり、使い忘れが減少した。冷蔵庫に入れなくても良い物もあると知った。⑤賞味期限、消費期限の違いを理解する。⑥情報交換の中で工夫の数々を学んだ。などの効果が出て、家庭から食品を減らそうという意識がより深まりました。



A	野菜炒め残り		○残りの野菜炒めを細かく切り、パンの周囲1cmくらいに軽く包丁を入れて、パンを押さえて窪みをつけて野菜をのせる。チーズと青みをのせて、オーブントースターで軽く焦げ目をつける。
	食パン	1枚	
	溶けるチーズ	1枚	
B	青み	適量	○ポテトサラダが残った時、油揚げを油抜きして、稲荷ずしの要領でポテトサラダを詰め、オーブントースターでこんがり焼く。
	(1人分)		
	ポテトサラダ残り	適量	
	油揚げ	2枚	

飯田市鼎婦人会会長 岡田 慶

村の花「くりん草」を守り育てて

平成8年に「くりん草」が村花と制定され、各戸に5株ずつ配布されました。

もっと「くりん草」の村にしたいと、くりん草愛好会に婦人会員も多く加わって、咲いた花をプランターに植え込み、役場を始め各種団体に設置して頂きました。又、同年の九十九谷森林公園に定植を始め、今では5月にはきれいな花が咲き、中旬頃「くりん草まつり」を開催し、遠方からも大勢訪れて頂く様になりました。



5月頃にはこの様にきれいに咲き、大勢の方が訪れます

ところが、令和2年はコロナ禍でまつりは中止になってしまったばかりか、7月の豪雨災害でくりん草園も甚大な被害を受けました。



7月の豪雨災害で苗がすっかり埋まってしまいました

毎年、園内外の草取りなど手入れ管理をし、株を増やし、谷一面に広がった花園が、土砂に埋もれてしまったのです。私たちはめげることなく、多くのボランティアにも助けて頂き、埋もれた苗を掘り起こしポットに植え替えました。保育園児までもが手伝ってくれました。

土壌が出来たら、植え戻す作業をして、今年の「くりん草まつり」に向け、復旧に励んでいきたいと思っています。もっと若い方に加わって頂き、村の花「くりん草」を守っていただければと願っています。

下伊那郡喬木村婦人会会長 桐生 成子

加入電話・INSネットの「固定電話」をご利用のお客さま **NTT東日本**

2024年1月以降、電話を提供するNTT東日本の局内設備を切替いたします。**設備切替後も、お手続き不要で、「固定電話(通話)」およびお客さまがご利用中の電話機などはお使いいただけますので、ご安心ください。**

「固定電話の設備切替」等に乗じた虚偽の情報に基づく悪質な販売行為にご注意ください。

お客さま宅内の電話機の交換や回線の切替工事は必要ありません。

NTT東日本 問い合わせセンター **0120-815-511**

【受付時間】午前9時～午後5時 ※年末年始(12/29～1/3)を除きます。K20-01957【2011-2111】

選んで安心Sマーク【標準営業約款制度】

Sマークは「安全・安心・清潔」なお店です



(理容) (美容) (クリーニング) (めん類) (一般飲食)

あなたのお店も【Sマーク】に登録しませんか!

～ 公益財団法人 長野県生活衛生営業指導センター ～
TEL 026-235-3612 Email naganocenter@seiei.or.jp

実践事業 活動発表

活動再開の日を願い...

昨年の初春から始まった、新型コロナウイルスの世界的流行の中、不安とそのうち収束するかもと期待も抱きつつ2020年の事業計画を進めてきました須坂市連合婦人会の活動を発表させていただきます。

まず、5月の定期総会から1年の幕が開きます。会員は年々減少傾向にあるとは言え、熱心に協力して下さる会員さんがいる以上、恒例の活動は継続・新しい企画も添えながら準備を進めました。しかし、感染拡大防止対策の為、大勢の集まりは中止となってしまいました。会員には総会資料を配布し事業計画の徹底を図りました。6月、古紙回収と再生紙購入事業を執行。地域・会員の全面的な協力により、大型トラックに積みきれない程大量に集まり大盛況。積み残し分は2回目10月の回収で積み切り、皆さん思い切り体を動かし、充実感をもって無事終了となりました。



9月、ゲストを厳選して行う「月見夜楽」。今年はどんな音楽が聞けるかと楽しみに待つ行事です。チラシまでバッチリでき、さあ配布と思ったら、人数制限がかかり止むなく断念。会員交流の唯一の場「一泊研修旅行」もコロナの脅威には勝てずに延期も空しく中止。12月、予定した料理講習会は4種の正月料理でしたので、レシピを市連婦だよりに掲載し活用していただければと配慮しました。会員宅の食卓を飾ったかもしれません。

まだまだ収束の目処が立たず、先の見えない日々が続きそうですが、いつの日か活動が再開される事を期待し、計画はしっかり立てて準備してまいりたいと思っています。

須坂市連合婦人会副会長 小池 邦子

くらしのフォーラム 地球温暖化について

昨年11月、市の環境課に出前講座を依頼し、地球温暖化についての学習会を開催しました。コロナ禍の中、不安もありましたが庁舎会議室にて、28名の会員が集えたのは久々でした。ここ百年で地球全体の平均気温が1度上がっただけで海面が19cm上昇、異常気象は生物の絶滅危惧など問題が頻発、百年先は約4度以上上がり地球崩壊になりかねない。2019年10月の台風19号は、地球温暖化による海水上昇の影響を受け巨大な勢力に発達し、千曲市にも甚大な被害と大きな爪跡を残しました。市職員のユーモアある説明が、高齢者の私達にも心温まるような素晴らしいお話でした。



地球温暖化防止に向け、温室効果ガス排出量の削減にさまざまな形で婦人会として取り組んできました。特にごみ減量は生ごみをボカシを使い肥料にしたり、紙の資源リサイクルの再生紙購入と古紙回収(年2回)を30年近く取組んでいます。

更なる地球温暖化防止に向けて、私達一人ひとりの小さな取り組みが大きな成果になり、豊かな緑あふれる市や町を次世代に引継いでいける様、持続可能な社会づくりに努力したいと思います。帰りぎわ、「コロナ禍でも来て良かった」との声も聞き、開催できて良かったです。

千曲市連合婦人会会長 宮坂 ケイ子

全地婦連自主事業 2020年度 昆布講習会



今年度は北佐久郡連合婦人会で実施して頂きました。来年度ご希望郡市はお申し出下さい。

- 〈講習献立〉
 - ・圧力釜炊き玄米ご飯
 - ・早煮昆布の精進麻婆豆腐
 - ・油揚げと昆布の黒砂糖煮
 - ・ほうれん草と切り昆布の塩麹和え
 - ・ごはんが進む昆布ちゃん

全地婦連自主事業 2020年度 昆布講習会

歯舞早煮昆布

皆さまが支えています。歯舞早煮昆布の ご費用 地域婦人会の 活動資金源

歯舞早煮昆布 200gタイプ

歯舞早煮昆布 200gタイプ

歯舞漁業協同組合

実践事業 活動発表

温暖化防止と婦人会活動

2月のクルーズ船ニュースに日本中が震撼し、4月には「コロナウイルスの感染拡大を防ぐための緊急事態宣言」が発令された。「命を救うためのSTAY HOME」と報じられ引き継ぎも理事会もできず、何もしないで「持続可能な婦人会づくり」ができるのだろうか。心や気持ちにコロナ禍にやられないように何か考えなければ！！

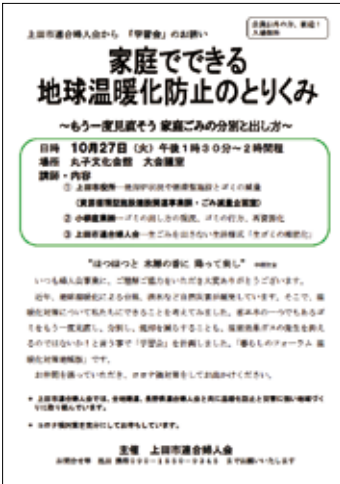
全地婦連の「温かい心寄せ合い～今こそ婦人会」に感銘し、コロナ禍で出遅れたが新生活様式に配慮しつつ、活動規模は縮小しても培ってきた社会参加をバネに持続可能な婦人会づくりの展開を示唆した。

8月より上田市のコロナ禍は、レベル4になり「元気やる気 ①健康体操・②上田市のゴミ問題学習会」も相次ぎ中止・延期報告。苦戦の中「あいさつ運動」は6月より順調に継続している。

10月にレベル1になり、しっかり温めてきたゴミ問題は「家庭でできる 地球温暖化防止の取り組み～もう一度見直そう 家庭ごみの分別と出し方～」と題し学習会を開催した。

コロナ禍対策を充分にしてその日を迎えた。文化会館の大会議室で、会員数31名と一般参加者26名が集い、県連婦中條会長も県知事の「気候非常事態宣言」の親書を携え駆けつけてくれた。地元有線放送・ケーブルテレビが収録。「温暖化防止は緊急の課題であり、災害に強い地域づくりを婦人会で取り組む」次世代に「安心安全の地球」を託すため、“今”できることを始めようと心に誓った。

上田市連合婦人会会長 池田 佐代子



堤 未果さん講演会を開催して

コロナ禍ではありましたが、情勢を見ながら町の消費者の会と会長等役員もダブルところがありましたので、思いきって密を避け、大きな会場に100人以内という条件で講演会を開催しました。

講師の堤未果さんは国際ジャーナリストで、ベストセラーとなった『日本が売られる』を書き、日本の「水・土・種」が危ないと多くのデータに基づき訴えている方でした。食の安心・安全について「日本人の食が売られるー子ども達の未来を守れー」と提し、アメリカの食や農畜産業の政策転換や輸出政策の経過を説明され、学校給食等の結果、肥満の子が三分の一近くになって母親たちが動き出したことなどを話してくださいました。

私たちが食べているものは、安心安全でしょうか？添加物や遺伝子組み換え・残留農薬に加え、有害化学物質による体内汚染などが心配されています。消費者庁で変更された食品表示改正は原産国。添加物が増々わかりにくくなりました。私たちも賢い消費者とならないと食も健康も守っていかれません。

暖房をたきながら窓全開で換気し、マスク・オーバーで聞く96名の参加者は皆納得し、満足した様子で帰られました。連合婦人会員の私たちがも食品の危険性について、もっと多くの若いお母さん達にも知らせ、次代を担う子ども達の為に行動せねばと思いました。

北佐久郡連合婦人会会長 今井 正子



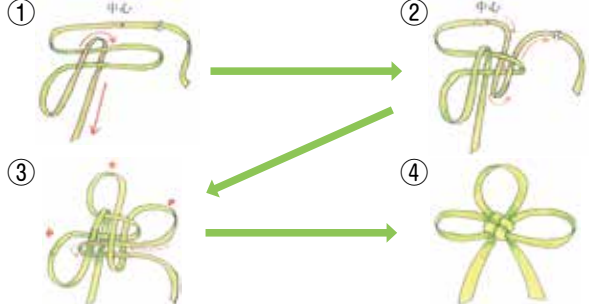
シトラスリボンプロジェクト

～「ただいま」「おかえり」と言い合える地域に～



「シトラスリボン」のそれぞれの輪は、「地域・家庭・職場（学校）」を表現しています。

<シトラスリボンの作り方>



県連婦会長
中條智子は
令和2年6月に
公益財団法人
長野県緑の基金
理事長に就任
いたしました。

新型コロナウイルス感染症をめぐる誹謗中傷や偏見をなくし、地域で受け入れる雰囲気づくりをしましょう